



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月5日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9075 URL http://www.fukutsu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務担当 (氏名) 桑本 聡 TEL 084-924-2000
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	124,201	3.1	5,597	7.1	5,938	1.9	3,766	100.1
25年3月期第2四半期	120,473	△2.5	5,224	△20.8	5,830	△14.7	1,882	△54.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,546百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 388百万円 (△89.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.78	13.61
25年3月期第2四半期	7.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	366,859	193,467	52.2	803.13
25年3月期	366,114	189,303	51.2	785.40

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 191,661百万円 25年3月期 187,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	254,000	3.1	12,000	△1.2	12,500	△8.1	7,300	68.8	30.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	278,851,815株	25年3月期	278,851,815株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	40,208,668株	25年3月期	40,200,666株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	238,646,848株	25年3月期2Q	240,662,846株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

平成25年11月12日（火）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融政策の効果等を背景に、企業収益や個人消費に改善傾向が見られるなど緩やかな回復基調にありましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速などにより、依然として先行き不透明な状況で推移してまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、景気の回復基調に支えられ、国内貨物輸送量に改善の兆しが見られたものの、本格的な回復には至らず、一方では燃料価格の高止まり等により、引き続き厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと当社グループでは、東京支店の再開発をはじめ各地で拠点整備や流通センター施設の建設に着手するなど経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,242億1百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は55億97百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益は59億38百万円（前年同期比1.9%増）となり、四半期純利益につきましては、特別損益の改善により37億66百万円（前年同期比100.1%増）となりました。

これらをセグメント別に見た事業の概要は次のとおりであります。

運送事業におきましては、取扱量の増勢のなかで、BtoB市場での小口荷物に的を絞りを、一方では長距離及び重厚長大荷物の抑制など不採算荷物の選別強化の徹底を図るなど荷物構造の改善を優先課題として取り組んでまいりました。なお、さる3月に開始した東京・大阪間のコンテナ専用列車により定時安定運行が定着し、配達網の拡充など輸送サービスの向上にも努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,094億35百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は48億87百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

流通加工事業におきましては、大型物流センターの稼働率の向上を図ると共に、新規案件の獲得に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は54億71百万円（前年同期比2.6%増）となりましたが、新センターの開業負担も重なり営業利益は3億21百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

国際事業におきましては、東南アジアにおける営業活動の強化により、国際利用運送事業の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は30億40百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は2億56百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

その他事業におきましては、賃貸施設の稼働率は大幅に改善することが出来ましたが、商品販売事業は振るいませんでした。

以上の結果、売上高は62億54百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は17億79百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて7億45百万円増加し3,668億59百万円となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が93億80百万円減少した反面、建設仮勘定の増加などにより有形固定資産が65億31百万円増加したことや、投資有価証券の増加などにより投資その他の資産が37億19百万円増加したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて34億18百万円減少し1,733億91百万円となりました。これは主に、長期繰延税金負債の増加などにより固定負債が8億76百万円増加した反面、支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少などにより流動負債が42億95百万円減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期末における純資産は、前連結会計年度末に比べて41億64百万円増加し1,934億67百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加などにより株主資本が25億88百万円、その他有価証券評価差額金の増加などによりその他の包括利益累計額が16億35百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から61億15百万円減少し208億40百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ12億22百万円増加（前年同四半期比25.9%増）し59億52百万円の資金収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益額が23億70百万円増加したことや法人税等の支払額が16億42百万円減少したことなどによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ200億27百万円減少（前年同四半期は107億44百万円の資金収入）し92億82百万円の資金支出となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が181億2百万円減少したことや有形固定資産の取得による支出が25億32百万円増加したことなどによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ194億75百万円増加（前年同四半期比87.4%増）し28億12百万円の資金支出となりました。これは主に、社債の償還による支出が178億43百万円減少したことや自己株式の取得による支出が13億18百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は復興需要と経済・金融政策等により回復基調を維持していくものとみられますが、海外景気の下振れ懸念は払拭できず、本格的な景気回復には程遠いものと予想されます。

貨物自動車運送業界におきましては、平成26年4月の消費税率引き上げを控え、駆け込み需要により輸送量の増加が見込まれるものの、燃料価格をはじめ諸経費の上昇もあり、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

こうしたなか当社グループでは、当下半期中におきましては運送事業では、全国7か所の集配拠点の新增設を予定しており、ネットワーク網の拡大とともにB to B市場における事業基盤の強化を図ってまいります。流通加工事業におきましても10月からイオン西関東PC（神奈川県）、11月からイオン松山XD（愛媛県）を開設するなど新規案件の開発に努めてまいります。また国際事業では、国内通関ネットワーク網を利用した国際複合一貫輸送の提案を通して一層の拡大を図ってまいります。

以上により、連結業績予想につきましては、平成25年5月9日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	252,000	12,600	12,800	7,300	30.45
今回修正予想（B）	254,000	12,000	12,500	7,300	30.59
増減額（B－A）	2,000	△600	△300	—	—
増減率（％）	0.8	△4.8	△2.3	—	—
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	246,476	12,148	13,596	4,325	18.04

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,756	22,339
受取手形及び売掛金	33,528	30,557
繰延税金資産	1,489	1,304
その他	3,141	3,367
貸倒引当金	△280	△314
流動資産合計	66,636	57,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	193,758	195,044
減価償却累計額	△130,822	△132,707
建物及び構築物（純額）	62,936	62,337
機械装置及び運搬具	57,696	58,590
減価償却累計額	△48,650	△49,675
機械装置及び運搬具（純額）	9,045	8,914
工具、器具及び備品	13,143	13,089
減価償却累計額	△11,028	△11,060
工具、器具及び備品（純額）	2,114	2,029
土地	184,504	185,076
建設仮勘定	2,700	9,475
有形固定資産合計	261,301	267,833
無形固定資産		
投資その他の資産	3,681	3,555
投資有価証券	29,674	33,270
繰延税金資産	1,430	1,523
その他	3,509	3,517
貸倒引当金	△120	△96
投資その他の資産合計	34,494	38,214
固定資産合計	299,478	309,603
資産合計	366,114	366,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,705	17,253
短期借入金	11,900	11,900
1年内返済予定の長期借入金	6,413	5,810
リース債務	2,079	1,732
未払法人税等	3,482	2,690
賞与引当金	2,821	2,761
その他	14,744	13,702
流動負債合計	60,146	55,851
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	41,038	41,249
リース債務	1,017	267
再評価に係る繰延税金負債	27,574	27,563
退職給付引当金	16,216	16,668
再開発費用引当金	2,378	2,378
債務保証損失引当金	13	13
負ののれん	73	48
その他	8,350	9,350
固定負債合計	116,663	117,540
負債合計	176,810	173,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	37,102	37,102
利益剰余金	98,535	101,129
自己株式	△17,317	△17,322
株主資本合計	148,631	151,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,163	9,796
土地再評価差額金	30,629	30,609
為替換算調整勘定	12	35
その他の包括利益累計額合計	38,806	40,442
少数株主持分	1,866	1,805
純資産合計	189,303	193,467
負債純資産合計	366,114	366,859

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	120,473	124,201
売上原価	112,494	115,506
売上総利益	7,979	8,694
販売費及び一般管理費	2,754	3,097
営業利益	5,224	5,597
営業外収益		
受取利息	11	2
受取配当金	299	366
負ののれん償却額	24	24
補助金収入	461	—
その他	188	217
営業外収益合計	985	611
営業外費用		
支払利息	246	211
金利スワップ評価損	21	—
その他	110	57
営業外費用合計	378	269
経常利益	5,830	5,938
特別利益		
固定資産売却益	2	99
投資有価証券売却益	—	379
負ののれん発生益	268	116
債務保証損失引当金戻入額	3	—
受取和解金	—	205
特別利益合計	274	800
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	233	97
減損損失	474	177
投資有価証券評価損	463	91
投資有価証券売却損	0	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
厚生年金基金脱退拠出金	934	—
特別損失合計	2,106	369
税金等調整前四半期純利益	3,999	6,369
法人税、住民税及び事業税	1,689	2,554
法人税等調整額	445	△69
法人税等合計	2,135	2,484
少数株主損益調整前四半期純利益	1,863	3,885
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△18	118
四半期純利益	1,882	3,766

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△18	118
少数株主損益調整前四半期純利益	1,863	3,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,479	1,633
為替換算調整勘定	4	27
その他の包括利益合計	△1,475	1,661
四半期包括利益	388	5,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405	5,422
少数株主に係る四半期包括利益	△16	123

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,999	6,369
減価償却費	4,702	4,703
負ののれん償却額	△24	△24
減損損失	474	177
引当金の増減額 (△は減少)	△0	402
その他	487	△2,481
小計	9,639	9,147
利息及び配当金の受取額	310	369
利息の支払額	△227	△214
法人税等の支払額	△4,993	△3,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,729	5,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	1,700	—
有形固定資産の取得による支出	△6,479	△9,012
有形固定資産の売却による収入	24	100
投資有価証券の取得による支出	△303	△1,129
投資有価証券の売却による収入	1	725
定期預金の預入による支出	△1,094	△789
定期預金の払戻による収入	19,193	1,091
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,080	—
その他	△215	△269
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,744	△9,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	29,437	24,800
借入金の返済による支出	△30,285	△25,192
社債の償還による支出	△17,843	—
リース債務の返済による支出	△1,002	△1,097
配当金の支払額	△1,220	△1,205
自己株式の取得による支出	△1,323	△4
その他	△50	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,287	△2,812
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,809	△6,115
現金及び現金同等物の期首残高	28,390	26,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,580	20,840

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	105,960	5,335	3,000	114,296	6,177	120,473
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	4,313	4,313
計	105,960	5,335	3,000	114,296	10,491	124,787
セグメント利益	4,109	353	206	4,669	1,927	6,597

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,669
「その他」の区分の利益	1,927
全社費用(注)	△1,373
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	5,224

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「運送事業」セグメント及び「流通加工事業」セグメントにおいて営業活動から生じる損益の継続的なマイナス、又は地価の著しい下落が認められる資産グループについて、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該特別損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、「運送事業」が156百万円、「流通加工事業」が2百万円であります。また、報告セグメント以外の減損損失の計上額は315百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「運送事業」セグメントにおいて、絹川屋運送株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては846百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「運送事業」セグメントにおいて、連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより268百万円の負ののれん発生益を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	109,435	5,471	3,040	117,947	6,254	124,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	4,352	4,352
計	109,435	5,471	3,040	117,947	10,606	128,554
セグメント利益	4,887	321	256	5,464	1,779	7,243

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,464
「その他」の区分の利益	1,779
全社費用(注)	△1,646
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	5,597

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「運送事業」セグメントにおいて営業活動から生じる損益の継続的なマイナス、又は地価の著しい下落が認められる資産グループについては、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、また除却予定となった資産については、当該資産の使用価値を零としてそれぞれ当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該特別損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、「運送事業」が110百万円であります。また、報告セグメント以外の減損損失の計上額は67百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「運送事業」セグメントにおいて、連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより116百万円の負ののれん発生益を計上しております。